

世界最古の木版印刷・百万塔陀羅尼から
インターネット時代の漢字情報処理まで

日仏の研究者が、書道文化、
整版印刷から活字印刷への移行、
テキストの図像化、印刷物の流通、
近現代の活字書体の変遷と漢字の電子処理、
漢字政策など、日本の文字文化・出版文化に
関わる重要な問題を多角的な視点から探る。

日本の 文字文化を 探る

日仏の視点から

クリストフ・マルケ
マリアンヌ・シモンⅡ及川
クレール碧子Ⅱブリッセ
パスカル・グリオレ
【共編】

予価八〇〇〇円(十税)
A5判上製カバー装
約五〇〇頁
二〇一〇年一月刊行予定

◆目次◆

序／クリストフ・マルケ

* 第一章 毛筆から活字へ *

書の世界―定家様―現代までの流れ―/名見耶明

碧眼の『日葡辞書』が見た日本の書道文化/安藤隆弘

仮名の「散らし書き」の性質をめぐって/パスカル・グリオレ

天平の木版印刷から明治の木村嘉平まで

―日本の木版印刷における刻工―/近藤高史

十九世紀ヨーロッパ・中国での明朝体活字の開発と日本への伝播/小宮山博史

エレキテルの時代―文章作成の機械化―/パスカル・グリオレ

戦後の漢字政策の構図と文字コードの迷路/家辺勝文

* 第二章 テキストの図像化 *

院政時代における宗教的・詩的クリプトグラフィ―

―『久能寺経』『薬草噺品』巻第五の見返し絵をめぐって―/クレール碧子・ブリッセ

筆描と刻線の接近

―容與堂刊『水滸伝』(二六一〇序)の挿絵版画と明代の山水画―/小林宏光

絵入り版本『義経記』の挿絵をめぐって―近世前期の出版をめぐる一考察―/出口久徳

江戸時代の文字遊び/稲垣進一

葛飾北斎と文字絵の世界/マリアンヌ・シモンⅡ及川

河鍋暁斎の絵本/及川 茂

* 第三章 本の流通と形態の変遷 *

江戸時代の書籍流通/鈴木俊幸

明治期の印刷と出版―近代文芸書装幀の変遷を中心に―/岩切信一郎

編集後記/パスカル・グリオレ



書名	部数	お名前	書店印
日本の文字文化を探る 日仏の視点から	部	ご住所	
予価: 8,000円(+税)		お電話	
通信欄			

勉誠出版

ご購入の際は、上記リストに記載の後、お近くの書店にお申し出ください。
〒101-0051 千代田区神田神保町2-20-6 TEL. 03-5215-9021 FAX. 03-5215-9025 WEBSITE. <http://www.bensey.co.jp/>